みどりの東北
Midori no Tohoku

No.265
令和８年 2026.4
林野庁 東北森林管理局
Tohoku National Forest Regional Office

桜並木と焼石連峰（岩手県北上市）
〔提供：岩手南部森林管理署〕

岩手県北上市には、東北地方有数の桜の名所「展勝地」がありますが、郊外にも桜並木などが随所にあり、残雪が美しい焼石連峰との対比も楽しめます。

CONTENTS

特集コーナー …………………… 2
使える！ 行政情報＆研究・技術の参考情報 …………… 3
地域発NEWS …………………… 4~7
国有林野所在市町村の魅力紹介 …………………… 8
地域のこの人 …………………… 9
今月のTopics 農林漁業信用基金からのお知らせ …………………… 10
イベント情報 …………………… 11

特集
コーナー

国有林野で今起こっている最新情報を
お伝えしています。

令和7年度森林・林業技術交流発表会の開催（その2）

技術普及課

【中学・高等学校の部】～優秀賞～
『「育てる」と「燃やす」のハイブリッド～廃菌床の全量資源化を目指した、私たちの完全リサイクル計画　EPISODE１～』

山形県立新庄神室産業高等学校
齊藤さん、加藤さん、下山さん、柴﨑さん

齊藤さん、加藤さん、
下山さん、柴﨑さん

キノコ栽培においては収穫後に残る「廃菌床」の処理が課題となっており、廃菌床を環境に優しい固形燃料として利用できないか検証が行われました。その結果、古紙を50％配合することで、十分な強度と高い燃焼効率が得られることが実証され、廃棄されていた廃菌床と古紙を新たな資源として利用できる可能性が高まったとの発表がありました。

審査委員からは、廃菌床を古紙と混ぜて固形燃料にするというアイディアが素晴らしかったという評価がありました。

【日本森林技術協会理事長賞】
『林道調査はスマートフォンとともに～手のひらサイズで現地がわかる！～』

東北森林管理局林道技術者育成PT、由利森林管理署
髙橋さん、藤野さん

髙橋さん、藤野さん

スマホのLiDAR計測機能を用いて３次元点群データを取得し、設計図面の作成を行うことで、小規模な林道被災箇所における測量の省力化が可能か検討が行われました。その結果、LiDARと縦断測量を併用し、縦断方向の補正をすることで、精度の高いデータを取得でき、短時間で計測を行えることから、業務の省力化に大きく寄与できるとの発表がありました。

審査委員からは、業務の省力化の取組は重要であるため、今後も様々な現場で検証し、マニュアル化を目指してほしいとの評価がありました。

【日本森林林業振興会会長賞】
『岩手県雫石町志戸前川地区直轄地すべり防止事業等と管内教育機関との連携による森林環境教育の取組についての考察』

盛岡森林管理署　小酒さん、菊地さん

小酒さん、菊地さん

当署では岩手大学や盛岡農業高等学校に対し森林環境教育のフィールド提供を行っており、岩手大学には志戸前川地区直轄地すべり防止事業箇所の見学を、盛岡農業高等学校には岩手山南麓にある御神坂沢治山ダムの見学を実施しました。また、盛岡農業高等学校に対して実施したアンケート調査では、多くの生徒から治山事業について「知らなかった」と回答があったことから、認知度を上げるため今後も治山施設の現地見学などの森林環境教育を継続していきたいとの発表がありました。

審査委員からは、治山事業の普及につながる大変有意義な取組であるとの評価がありました。

【東北森林管理局林政記者クラブ賞】
『南陽市秋葉山における森林火災後の二次遷移の実態』

東北農林専門職大学附属農林大学校　河原さん

河原さん

南陽市秋葉山において令和６年５月に発生した森林火災について、森林再生に向けたモニタリングや二次遷移の過程を観察するための基礎データ収集を目的に、火災後の植生調査と土壌調査が実施されました。その結果、調査地はまだ更新途上にあることや、土壌はA0層とA層上部が火災の影響を受けたことが分かったとの発表がありました。

審査委員からは、森林火災は全国的な問題となっており、本取組は非常に重要であるため、今後も継続した調査をお願いしたいとの評価がありました。

最後に芦谷審査委員長より、「多様な分野の発表があり、森林・林業が非常に幅広い分野を担っていることを実感させられる発表会であった。」との講評をいただき、２日間の発表会を終了しま

使える！

行政情報&研究・技術の参考情報

森林・林業に関して役立つ行政の情報や研究技術情報を紹介しています。

令和7年度国有林野等所在市町村長有志協議会

「国有林野等所在市町村長有志協議会（以下「有志協」という。）」は、国有林野等の所在する地域の市町村長および森林管理署長等で構成され、東北森林管理局管内の各県に設置されています。有志協では、地域社会と国有林野事業の連携強化を図り、地域の社会経済の発展と国有林野事業の円滑な遂行に寄与することを目的として、市町村長等との意見交換を実施しています。

今年度は、令和7年10月から11月にかけて各県で有志協を開催したのち、12月15日には東北森林管理局において、各県有志協の代表市町村長と意見交換等を行う「東北森林管理局国有林野等所在市町村長有志協連絡協議会（以下「連絡協議会」という。）」を開催しました。

意見交換では、市町村長の皆様から、頻発化する自然災害への対応や社会問題化しているクマ等野生鳥獣被害対策の強化、森林の多面的機能の発揮に向けた森林整備、ナラ枯れ・松くい虫被害への対策、さらに林業の担い手確保に向けた取組の推進等、多岐にわたるご意見、ご要望をいただきました。

各県の有志協や連絡協議会を通じて寄せられた貴重なご意見・ご要望については、現場の状況等も踏まえながら、今後の国有林野の取組に繋げていくこととしております。

東北森林管理局では、引き続き地域社会と連携した国有林野の管理運営に努めてまいります。

出席者に挨拶する箕輪局長（連絡協議会）

ご関心のある方は、東北森林管理局企画調整課（TEL：018-836-2273）へお問合せ下さい。

老齢林の構造とはたらき

老齢林とは、森林が成立しはじめてから数百年が経ち、多くの大径木を含む幅広いサイズの樹木が生育し、枯死木や倒木も多く存在する森林を指します。ブナなどの広葉樹だけでなく、スギやヒノキなどの針葉樹も老齢林を形成します。日本では、古来からの人間活動により老齢林が大きく減少しましたが、現在では多くが保護林などに指定されています。

老齢林は、生きた樹木に加えて枯死木や土壌にも大量の炭素を貯蔵しています。かつて老齢林は二酸化炭素を吸収しないと思われていましたが、その後の研究により、多くの老齢林が吸収を続けていることが明らかになりました。また、老齢林は、伐採などの環境変化に弱い生物や、枯死木や大径木、木のうろなどをすみかとする生物の生息場所として、生物多様性の保全にとても重要です。

このような老齢林の構造とはたらきは、人工林の生態系サービスを向上させる上で参考にすることができます。例えば、針葉樹人工林では、伐期の延長や、混交した広葉樹の残存などが有効な方法として挙げられます。老齢林そのものの代替にはなりませんが、こうした管理は、生物多様性や水質の維持など、森林のもつ生態系機能の向上に一定の効果があることが知られています。

岩手南部森林管理署管内の老齢林（岩手県奥州市）

ご関心のある方は、森林総合研究所東北支所（TEL：019-641-2150）へお問合せ下さい。

地域発NEWS
（治山・林道事業の取組）

各（支）署・センターでは、集中豪雨や台風等により被災した山地の復旧整備、機能の低下した森林整備等を推進したり、森林の整備・保全や林産物の供給等を効率的に行うための路網整備を推進したりしています。

豪雨災害から地域を守る治山事業

岩手

三陸北部森林管理署

近年、各地で局地的、記録的な豪雨が観測されることが多く、山地災害が発生するリスクも年々高まっています。

当署管内でも、令和元年10月の台風第19号において、24時間降水量300mm以上の豪雨により、宮古市、山田町の国有林内で土石流が発生し、下流の民家や生活道路等が被害を受けました。

渓流内には大量の土砂が堆積し、豪雨等の影響により、被害の拡大や土砂が流出する恐れがあったことから、当署では令和２年度より治山事業による復旧と災害防止対策に取り組んでいます。

令和７年度は、山田町船越にある半崎国有林内でコンクリート谷止工１基、鋼製枠谷止工１基を施工し、これまでに８基の谷止工（コンクリート谷止工４基、鋼製枠谷止工４基）が完成しています。谷止工は、渓流内の勾配を緩やかにし、堆積土砂の移動を抑え、土石流の防止や下流への被害を最小限にする機能があります。なお、使用する資材や施工方法により、次の２種類から選定することになります。コンクリート谷止工は、コンクリートで構築されるため、生コン車をはじめ、大型車両が工事現場まで進入できることが条件となります。鋼製枠谷止工は、鋼製の枠組の中に現地で採取した石等を詰めるため、急傾斜地で車両が進入できない、現場までの距離が遠いなどの制約がある現場に選定しています。

また、コンクリート谷止工においては、周辺環境への配慮、地球温暖化の防止、森林の健全化に資するため、木製の残存型枠を取り入れることにより、間伐材の利用促進に取り組んでいます。

今後も地域の安全と安心を守るため、効果的な治山事業を実施することにより、森林の持つ様々な機能を向上させ、災害に強い森づくりに取り組んでいきます。これからは、予測が難しい自然災害や自然の力を有効に活用できる再生可能エネルギー事業など多くなることが予想されることから、保安林の重要性を再認識し、未来へと引き継がれるべき自然環境を守るために、努力してまいります。

令和7年度施工　コンクリート谷止工

（シドケ沢）土石流発生後の状況

（シドケ沢）コンクリート谷止工完成

令和7年度施工　鋼製枠谷止工

（田の浜）土石流発生後の状況

（田の浜）鋼製枠谷止工完成

地域発NEWS
（森林整備等の取組）

各（支）署・センターでは、植栽、保育、間伐等の森林整備を適切に行うことで、健全な森林を造成し、資源の循環利用を推進したり、地域の木材の安定供給体制を構築するため、製材・合板工場等の需要者と協定を締結したりしています。

より一層の森林機能の発揮と作業の効率化をめざして

秋田

米代東部森林管理署上小阿仁支署

戦後に全国で植栽されたスギ人工林は伐採の時期を迎え、当支署管内に植栽されているスギ人工林でも同様に伐採が進められています。スギの人工林には、二酸化炭素の吸収や降雨の保水などの公益的な機能があり、目には見えないものの我々の生活に密着しているこの機能がより一層高まるよう、適切な施業の実施が求められています。

当支署における伐採事業（木材生産）では「一貫作業システム」という方法を進めており、令和８年度の伐採事業においても実施を計画しています。

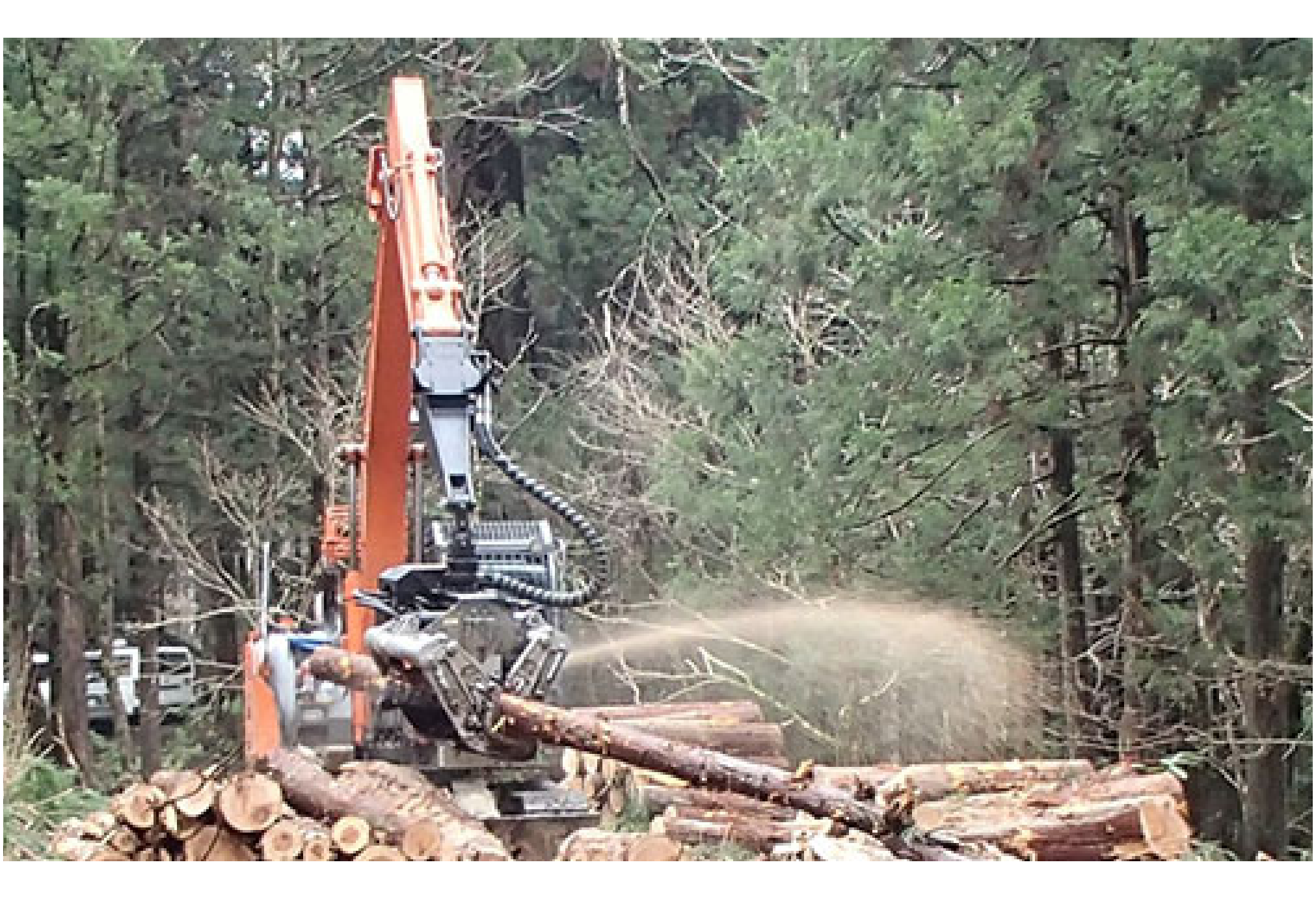
「一貫作業システム」とは、従来は別々に計画・実行していた伐採と地拵・植付を、一連の作業として実行するものです。伐採時に使用した搬出路や機械等を地拵・植付にも活用することが可能となり、作業効率が向上します。

木材生産は、立木を伐採し、利用可能な丸太に加工する作業で、伐倒（木を倒す）、枝払い・造材（枝を払い、特定の長さに切る）、集材（林道沿いへの運搬）、巻立（造材した丸太を集積）といった工程からなります。作業全体の生産性を向上させるには、これらの各工程と地形等の作業条件に応じた各種の林業機械（ザウルスロボ、プロセッサ、フォワーダ等）を組み合わせて配置し、効率的な作業システムを構築することが重要です。

植付では使用する苗木を従来の普通苗ではなくコンテナ苗を用いることで、植栽適期の拡大を図っています。コンテナ苗は根鉢があるため、出荷から植付まで根の乾燥を防ぐことができ、積雪期を除き、従来の、春、秋の植栽適期以外でも高い活着率が期待できます。

今後も、効率的な木材生産を実施するとともに、再造林の省力化の実施、持続的な公益的機能の向上に向けた取り組みを進めてまいります。

林業機械（ザウルスロボ）による搬出路作設


林業機械（プロセッサ）による造材

コンテナ苗

一貫作業システムの作業後の状況

地域発NEWS

（病虫獣害対策・森林生態系保全等への取組）

各（支）署・センターでは、希少な高山植物や生態系への脅威となる深刻な病害虫や動物による森林被害への対策を推進したり、森林生態系の保全・管理や自然再生、希少な野生生物の保護等をしたりしています。

ニホンジカから白神山地を守るための取組

秋田

藤里森林生態系保全センター

当センターでは、秋田県側の白神山地周辺地域において、センサーカメラを林内に設置し、ニホンジカなどの中・大型哺乳類の生息調査を行っています。

夏期には藤里町の国有林内に11台、八峰町の国有林内に10台、同町の民有林内に５台の計26台。冬期については、比較的積雪量が少なくデータ回収が可能な八峰町の国有林内と民有林内に計６台のセンサーカメラを継続して設置し調査を行っています。

ニホンジカについては、夏期に多く撮影されていた場所でも、冬期になると撮影される回数が減ったり、場所によっては全く撮影されなくなってしまうことがあります。これは、周辺の越冬に適した場所に移動していると考えられます。

森林総合研究所東北支所（以下「森林総研」という）の研究によると、ニホンジカは、東北の厳しい冬を乗り切るため、周辺より雪が少なく、餌となるササや灌木が生えた伐開地の近くに、隠れ場となるスギ林のある場所を越冬地として選ぶ傾向が他地域の事例から判っています。ある程度の期間、その場所にニホンジカが滞在すると、食痕や糞などの生活の痕跡が残りますが、それらを見つけ出し、越冬地を特定するには、固定されたセンサーカメラだけでは限界があります。

そこで当センターでは、森林総研や環境省などと合同で痕跡調査を実施しています。この調査によりニホンジカの越冬地が特定できれば、生息密度が低い地域でも効率的な捕獲や駆除につながると考えられます。

しかし、センサーカメラでの調査や職員の巡視、関係機関との痕跡調査だけでは、広大な白神山地でニホンジカの生息状況などを把握することは容易ではありません。

このため、東北森林管理局長から委嘱された白神山地世界遺産地域巡視員の方々にも協力をお願いし、巡視の際に目撃された時には、情報提供していただくこととしており、これまでも周辺地域での目撃情報が寄せられています。

当センターでは引き続き、中・大型哺乳類の生息調査等を通じて、ニホンジカの生息状況などについて調査と情報収集を行っていきます。

センサーカメラの設置状況

八峰町で撮影されたオスのニホンジカ（夏期）

同じ場所で撮影されたオスのニホンジカ（冬期）

地域発NEWS

（ふれあい・管理・総務等の取組）

各（支）署・センターでは、森林環境教育のプログラムの整備やフィールドの提供などによる「森林環境教育」の取組を推進したり、観光資源としての活用等を通じて国民に開かれた管理経営を推進したり、地域産業の振興や住民の福祉の向上等に貢献するために、地元住民等に対して国有林野の貸付を推進したりしています。

海岸林を後世へ繋ぐクリーン作戦を実施

青森

津軽森林管理署金木支署

当支署管内、五所川原市の十三湖に隣接する五月女萢（そとめやち）地区は日本海からの風が強く、周辺には集落や耕作地があることから一帯を防風保安林に指定しています。

その五月女萢防風保安林付近の海岸において、近年不法投棄されたゴミや日本海からの漂着ゴミが散乱し保安林機能等への影響が懸念されております。

林野庁では毎年７月を『「国民の森林」クリーン月間』として設定し国有林をクリーンにする活動を推進していることから、当支署においてもクリーン月間の取組として、海岸林の保護や景観・保安林機能の維持向上のため、令和７年７月２日（水曜日）に五月女萢地区の海岸においてクリーン作戦を実施しました。

当日は暑い中、当支署森林ボランティア巡視員、関係機関を合わせ、総勢50名が協力しゴミの収集撤去作業を行いました。

この日収集したゴミは、釣り人等が捨てたと思われる空き缶やペットボトル、その他は漂流したゴミが多く見受けられました。

収集したゴミ量は収集車（２ｔ）１台分で、昨年度よりゴミの量も減っており、これまで継続して活動を行っている成果が伺われました。

ゴミの撤去については、五所川原市の協力を得て全て廃棄物処理場で処分していただきました。参加者からは、海岸が綺麗になってとても気持ちが良い、今後も継続して実施していただきたいとの声がありました。

当支署としては、クリーン作戦を今後も継続的に進めることで地域住民等に不法投棄の防止を訴えていくことが重要なことから、森林ボランティア巡視員及び地元自治体と連携して不法投棄防止のＰＲ活動や保安林の保全及び公益的機能の維持・向上に努め、美しい海岸林を後世に継承することを目的に取り組んでいきたいと思います。

開会式の様子

作業中の様子

ゴミ集積の様子

防風保安林

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

青森県東津軽郡外ヶ浜町

青森森林管理署

人　口	4,803人（R7.12.31現在）	**面　積**	230.30㎢
市町村の木	マツ	**市町村の花**	アジサイ

青森県の津軽半島北東部に位置する外ヶ浜町は、平成17年に蟹田町、平舘村、三厩村の３町村が合併して生まれました。津軽国定公園龍飛崎をはじめ、風光明媚な景観の観光資源等を受け継ぎ、海と山と川の恵みとともに生きる町です。

日本史上ひときわ人気の高い人物である「源義経」。1189年（文治５年）、兄である源頼朝の手により平泉の地で悲劇の死をとげたとされる義経ですが、ここ外ヶ浜町三厩地区には、源義経が追撃をかいくぐって平泉を脱出、北へ向かい龍飛崎を渡って蝦夷地（北海道）へ向かったという「義経北行伝説」が伝えられています。義経寺、甲岩、厩石、帯島など義経一行が歩んだ足跡をたどれます。

義経寺観音堂

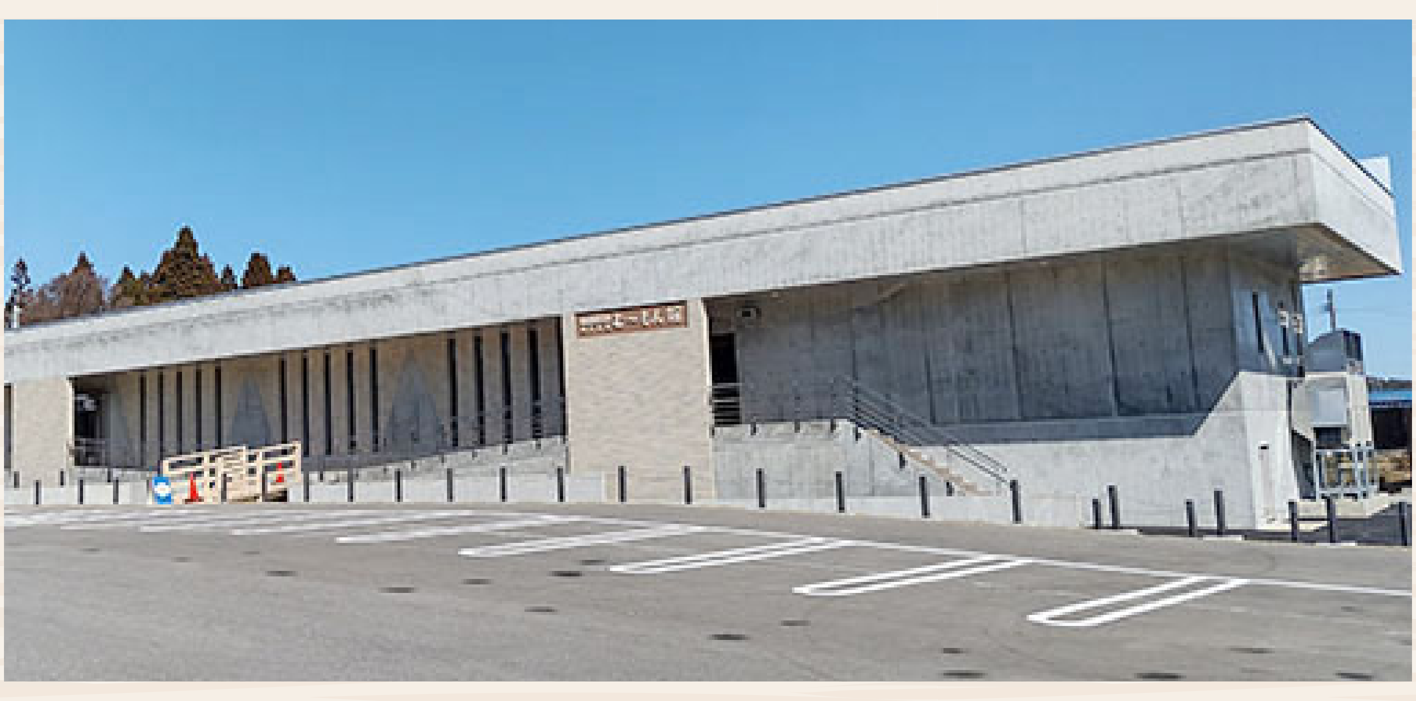
津軽国定公園龍飛崎は津軽半島の最北端。北海道の白神岬とは津軽海峡を挟んで19.5kmの距離があり、地下を青函トンネルが通ります。晴れた日には北海道を見渡すことが出来ます。海沿いから龍飛崎灯台方向に延びる全362段、日本で唯一の階段国道があり、もとは生活道路として利用されていましたが、1974年に国道に指定されました。

津軽国定公園　龍飛崎

平館灯台は、全国的にも珍しい国道沿いに立つ白亜の灯台。明治32年にできた西洋式灯台で、高さは23メートルあります。周囲にはクロマツ並木や西洋式台場の土濠が扇状に残っており、平舘海峡を航行する船舶を100年以上にわたり見守ってきました。

平館灯台

史跡「大平山元遺跡」は、令和３年７月、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成遺産の１つとして世界文化遺産に登録されました。遺跡では約１万５千年前に使われていたとされる北東アジア最古級の土器片が発掘されており、縄による文様がない「無文」であることが特徴的です。これら土器片は国の重要文化財に指定され、展示施設「むーもん館」では、同じく指定品の石器類も間近で見学することが可能です。


展示施設「むーもん館」

（掲載写真はすべて外ヶ浜町より提供）

より詳しい
市町村の魅力はこちらから→

（掲載写真はすべて外ヶ浜町より提供）

お問合せ先
外ヶ浜町産業観光課　Tel. 0174-31-1228

地域のこの人

森林や林業の仕事の魅力とは?!
林業業界で働く人と国家公務員「森林官」や森林管理署等で働く人の紹介です。

若手が輝き、未来を拓く仙北の林業経営

秋田

秋田県森林整備事業協会
株式会社堀川林業　代表取締役社長　堀川　義貴さん

秋田杉の宝庫、仙北市で昭和28年から素材生産を続けてきた。経営者として私が最も大切にしているのは「人」である。高性能林業機械の導入が進んでも、現場の要は人だからだ。

若者が林業を一生の仕事に選べるよう、環境整備に力を注いでいる。その象徴が去年完成した社員寮だ。遠方から志を持って集まる若者が安心して生活し、仕事に打ち込める拠点を作りたかった。現在、二十代から三十代の若手が10名以上在籍し、最新のハーベスタを自在に操る姿は、地域の林業の新しい希望となっている。

未経験でもプロへと育てる資格取得支援や、安全第一の現場づくりは、彼らの将来を守るための投資だ。林業を「かっこよく、稼げる仕事」へと変え、誇りをもって働ける場を提供し続けたい。

豊かな森林を次世代に引き継ぐためには、人を育て、地域を活性化させる循環が不可欠だ。これからも若手社員と共に、秋田の森の可能性を切り拓いていく。仙北の地から、新時代の林業を力強く発信していきたい。

現場での作業風景

株式会社堀川林業　公式サイト
https://www.horikawa-ringyo.co.jp→

「林道業務」は縁の下の力持ち

秋田

秋田森林管理署
土木担当　熊谷　勢永さん

令和６年度に採用された私は、秋田森林管理署の土木担当として、秋田市を含めた３市１町に所在する167路線、572kmに及ぶ林道の維持管理業務を行っています。

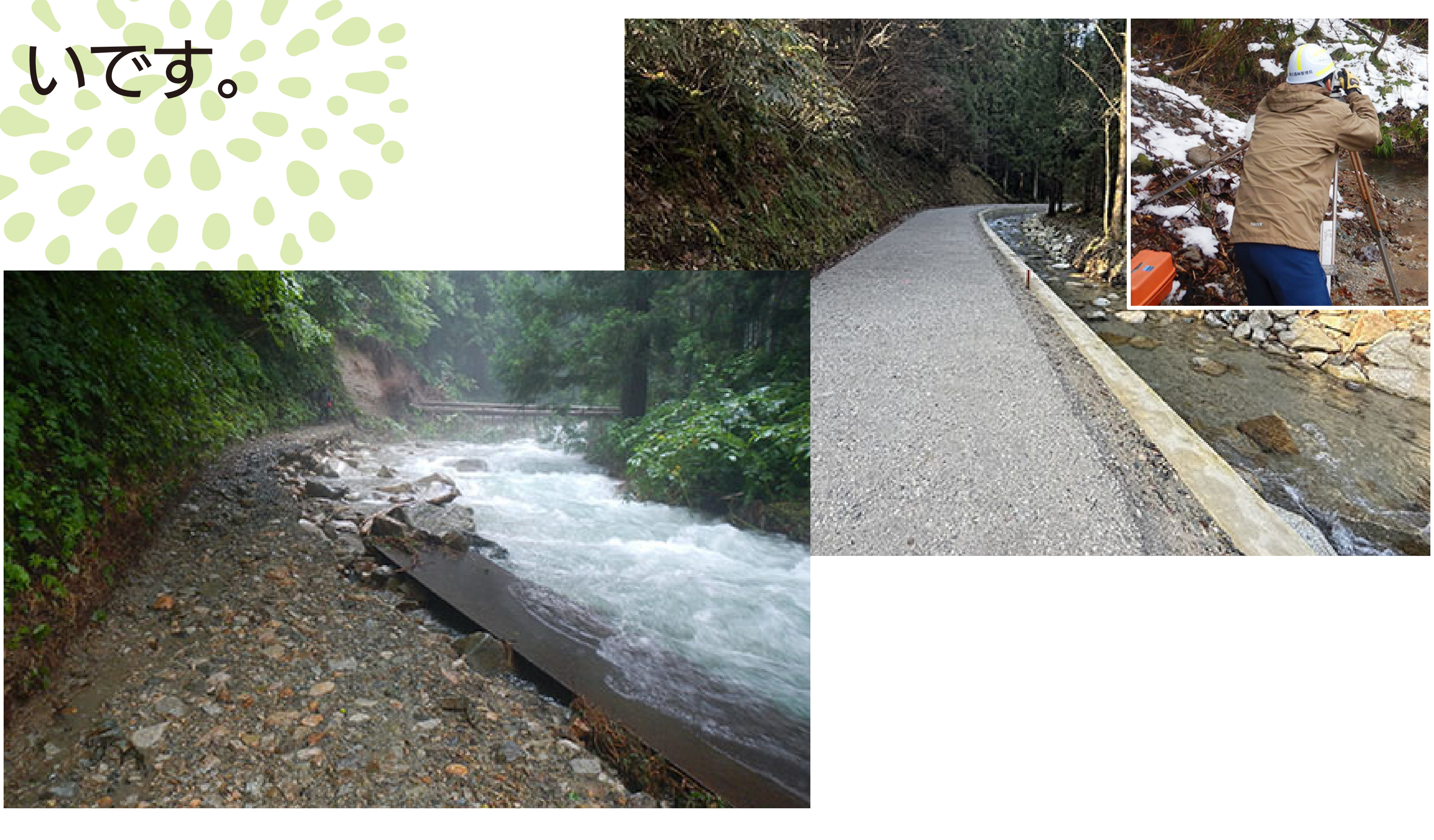
林道は、森林の管理や木材生産などの林業活動の基盤として必要不可欠なものです。この他、登山道入口へのアクセス路や災害時の代替路として利用されることもあります。

令和７年度は、計３件（災害復旧２件、改良１件）の監督職員を任されました。具体的には、工期内の完成に向けて、構造物等が設計どおりに施工されているか等の段階確認を行います。

進捗管理のポイントやコツを上司に教えてもらいながら、監督業務を適切に遂行し、現場工事の完了の日を迎えることができました。

被災直後は左写真のような惨状であったものが、請負事業体の施工により元どおりの林道の姿に戻った様子を見た時には、監督職員としての達成感が沸き上がってきました。

土木担当の業務は、林業そのものというより、林業に必要な基盤を「作る」という、縁の下の力持ちのような役割であり、そこでしか感じられないやりがいがあります。この記事を読んだ方々に、少しでも林道に興味を持っていただければ幸いです。



左：被災直後　右：工事完了後

今月の Topics

令和７年度治山・林道コンクール表彰授与式を開催

３月４日に当局大会議室において、治山・林道コンクール表彰式を開催しました。公益的機能の発揮、林業・木材産業の成長産業化の推進とその効果を一層発現させることに貢献した治山・林道工事において、民有林の模範としてふさわしい工事を表彰しております。さらに、工事における施工の適正化と施工技術の向上及び、関係者の意欲高揚を目的としており、20工事19社が受賞しました。

入賞工事一覧はこちら→

https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/attach/pdf/index-161.pdf

国有林における林野火災予防等に関する情報

水が少なく乾燥すると林野火災が発生しやすい状況になり、さらに空気が乾燥していたりすると、発生した林野火災がより延焼しやすい危険な状況になります。また、強風の場合には、発生した林野火災が大規模化しやすい状況になります。こうした気象状況の際は、市町村の発令する林野火災警報・注意報に留意し、火の取り扱いに十分注意するとともに、林野火災情報ポータルで気象情報を確認してください。

林野火災情報ポータル

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/rinya/rinyakasai.html

（独）農林漁業信用基金からのお知らせ

林業・木材産業の創業等支援保証

- 新たに林業・木材産業を開始する方（新規創業者）、他産業から林業・木材産業へ参入する方（新分野進出者）の資金調達の際に債務を保証します。
- 最大で５年間の保証料免除を受けられます。
- これまで、会社員、自営業の方の新規創業や、運輸関係企業等の新分野進出のお手伝いをしています。

※融資及び保証については一定の審査をさせていただきます。

申込窓口

お近くの金融機関へ直接お申込みください。
取扱い金融機関：
https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/shinyouhosyou/yushikikan.html

相談窓口

独立行政法人農林漁業信用基金
林業信用保証管理部／林業信用保証業務部
電話：03-3434-7825
（地方公共団体又は林材関係団体の方）
電話：03-3434-7826、7827
（融資機関又は保証ご利用の方）
URL：https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/index.html

お気軽にご相談ください。

東北森林管理局の管内で予定されている

イベント情報

5月

第45回 森林の市 in AKITA

秋田の豊かな自然の恵みを食べて、学んで、体験しよう！

日　時 令和８年5月30日（土）10:00～14:00

会　場 東北森林管理局構内特設会場

出　展 日本森林業振興会、秋田緑化推進委員会ほか

主　催 森林の市 in AKITA実行委員会

昨年度の様子

お問合せ先
実行委員会 運営局
（日本林業振興会秋田支部内）
Tel：018-832-4040

出展一覧

①　山野草コーナー
■ 秋田林友会
山野草等の販売

②　山菜コーナー
■ 本荘由利森林組合
山菜等の販売

③　緑の募金&育樹祭PRコーナー
■ （公社）秋田県緑化推進委員
第50回全国育樹祭のPR、山菜等による緑の募金活動

④　木工品コーナー
■ （株）門脇商店
木工品、山菜の販売

⑤　木炭品コーナー
■ 県立大学炭焼きサークル
炭やきで夕日の松原まもり隊
炭の販売、団体活動の展示

⑥　木工体験コーナー
■ （一財）日本森林業振興会秋田支部
ミニテーブル、卓上小物入れ、本棚型小物入れの製作

⑦　山菜コーナー
■ 大館北秋田森林組合
山菜・みその販売

⑧　山の道具コーナー
■ （株）あすなろ秋田支社
草花、安全長靴、安全地下足袋の展示・販売

⑨　樹木診断コーナー
■ （一社）日本樹木医会秋田県支部
樹木質問コーナー、小物おみやげプレゼント

⑩　木香製品コーナー
■ バレアンヌ
秋田杉香りグッズ、ヤマビル除けスプレー、香りづくり体験

⑪　木工体験コーナー
■ 秋田県森の案内人協議会
竹とんぼ、キーホルダーかけ、ミニテーブル等の製作

⑫　環境資材コーナー
■ 日本植生(株)盛岡営業所
環境資材、ソーラーランタンの販売

⑬　測量体験コーナー
■ （株）森林テクニクス東北支店
光波測量機材を使った距離当てゲーム、ヨーヨー釣り

⑭　山菜コーナー
■ 秋田県素材流通協同組合
秋田森林整備協会
山菜の販売

⑮　木工品コーナー
■ (株)ウッディさんない
木工製品の販売

⑯　木工品コーナー
■ （一財）日本森林林業振興会青森支部
天然青森ヒバチップのプレゼント、ヒバ製品の販売

⑰　山菜汁コーナー
■ 実行委員会
山菜まぜご飯の販売

⑱　自衛隊PRコーナー
■ 自衛隊秋田地方協力本部
秋田募集案内所
車両・パネルの展示、制服試着

⑲　動物の声等体験、植物観察コーナー
■ 東北森林管理局
動物の声、木の重さ・香り体験、植物観察　ほか

⑳　クラフト体験コーナー
■ （国研）森林研究・整備機構森林整備センター
秋田水源林整備事務所
松ぼっくり、枝等で小物づくり

6月

令和8年度
第1回 自然再生活動
～スギ林から広葉樹の森へ～

百年後を見据えた広葉樹林への再生作業を体験してみませんか？
（6月初頭 申込開始予定）

日　時 令和８年6月27日（土）

場　所 青森県中津軽郡西目屋村

定　員 15名（要申込、応募者多数の場合は抽選）

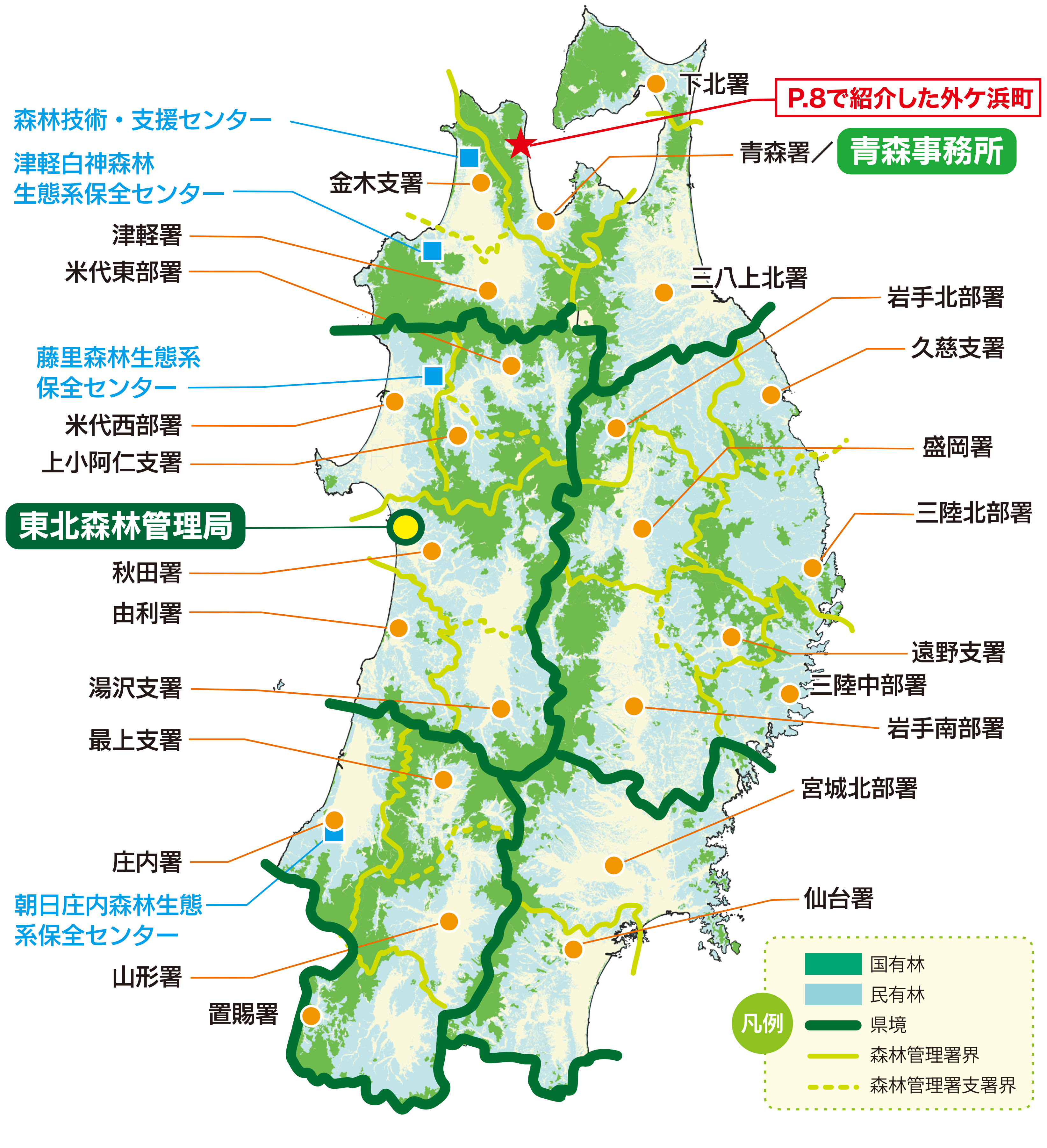
参加費 700円程度（傷害保険料・駐車場料）

主　催 津軽白神森林生態系保全センター

お問合せ先
津軽白神森林生態系保全センター
〒038-2761
青森県西津軽郡鰺ヶ沢町
大字舞戸町字東阿部野70-82
Tel：0173-72-2931
Mail：t_shirakami_f@maff.go.jp

東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓



お問合せ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131
	三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551
	津軽白神センター	西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野70-82	☎0173-72-2931
	森林技術･支援センター	北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8	☎0173-57-9022
岩手県	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391
	三陸中部署	大船渡市盛町字宇津野沢7-5	☎0192-26-2161
	盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001
	岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131
	遠野支署	遠野市東舘町7-39	☎0198-62-2670
宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074
	仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111
秋田県	米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130
	上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422
	米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511
	秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311
	湯沢支署	湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164
	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076
	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003
山形県	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331
	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161
	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122
	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246
	朝日庄内センター	鶴岡市末広町23-37	☎0235-26-1841

東北森林管理局
〒010-8550　秋田県秋田市中通 5-9-16　☎018-836-2014

みどりの
Midori no Tohoku
東北

No.265
●発行日／令和８年４月
●発行／**東北森林管理局**

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください
https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/